

第7号様式（第4条関係）

まちづくりアドバイザー登録票

ふりがな 氏名	たもつ きよひと 保 清人
所属（勤務先） 連絡先	<b>まちなみ景観課へお問い合わせください</b>
専門分野	ランドスケープ、まちづくり、景観、建築、環境デザイン、都市計画調査、分析、評価
支援可能事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちづくりの進め方(ワークショップなど)について</li> <li>■ まちづくりの事業手法や制度について</li> <li>■ まちづくりの計画・ルールづくりについて</li> <li>■ 建築制限、開発制限について</li> <li>□ 不動産鑑定、税務、法律について</li> <li>■ 防災まちづくりについて</li> <li>■ その他(環境調査、分析、評価、まちづくりに係る調査、マーケティング、行動調査など)</li> </ul>
支援可能事項における実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市みずき通りポケットパーク（実施中）</li> <li>・八王子市タマチリノベーションプロジェクト（実施中）</li> <li>・八王子市中心市街地空店舗利用事業（実施中）</li> <li>・八王子市子育て支援企業、子育て支援カフェ、ファシリテーター（実施中）</li> <li>・鹿児島市 Wheel シェアリング事業計画</li> <li>・鹿児島市 中心市街地 天文館 消費者行動特性調査</li> <li>・鹿児島市 商業施設 消費者行動特性調査、環境調査</li> <li>・スウェーデン Hoor 地区再生計画</li> <li>・スウェーデン 森林環境調査</li> <li>・デンマーク 開発、環境影響調査</li> <li>・デンマーク 森林環境調査</li> <li>・韓国 Magok ウォーターフロント計画（国際設計競技特別賞）</li> <li>・オーストラリア キャンベラ 国立美術館ランドスケーププラン</li> <li>・オーストラリア シドニー オレンジ郡病院ランドスケーププラン</li> <li>・オーストラリア シドニー リタイヤ施設設計、環境回復計画</li> <li>・UAE ドバイ、商業施設ランドスケーププラン</li> </ul>

論文その他の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修士論文：Great Landscape Paintings into the Urban Forestry and Urban Greening. <i>Exploring the appreciation of nature within the landscape paintings and translating to the modern urban green contexts</i></li> <li>・ 学士論文：風景画論</li> <li>・ 本：Under's High - Special Issue, THE HUB 発行：南方新社 2011 年 8 月</li> <li>・ フリーペーパー Under's high：2007 年より現在まで、ランドスケープレポート連載 など。</li> </ul> <p>講演実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 24 回世界建築会議 UIA2011 東京大会、UIA 東京チェアシティー (NPO 法人日中ランドスケープフォーラム理事として)</li> <li>・ かがしま環境フェア基調講演</li> <li>・ マルヤガーデンズ天茶会 など</li> </ul>
-----------	--

## その他PR事項

まちづくりに欠かせない人々のジャンルとして、よい Facilitator (進行役) と Connoisseur (目利き) が挙げられます。まちのポリシーや戦略、実行を住民と共に円滑に進めるのは Facilitator であり、専門職としてはランドスケープアーキテクトが行います。まちづくりを実行している段階、あるいは実施後のまちを評価するには、よい Connoisseur が必要になります。評価するのはまちの人々であるべきですが、彼ら、彼女らはまちの“目利き”にもなる必要があります。

これまでの日本のまちづくりは、進行役を権力者や異業種専門家、市民ボランティアが行うことが多く、まちの評価は専門家とよばれる人々の間で行われ、いわゆる”完結型”のまちづくりを行っている、といえます。

欧米では都市化の影響にともない 2050 年までには人々の 80% が都市圏に住まうといわれており、まちづくりには持続性のある計画や戦略、実行が望まれています。成熟した国々では拡大する都市化や、都市化に伴う多種多様な問題を鑑み、持続的なまちづくりを行うランドスケープアーキテクトを育成しています。

ニューヨークのマンハッタンにある”セントラルパーク”はランドスケープアーキテクトの最初の仕事といわれ、劣悪な都市環境を住みよいまちにするための手法の一つを紡ぎ出した専門家だといえます。他にも、住民や地域においても、ランドスケープアーキテクトはコミュニティを作り出す専門家として知られています。

八王子のような地方都市ともいえる環境においては、地域の歴史、住民、首都圏や世界の影響により、複雑で多種多様な都市問題を抱えています。それを紐解き、導くための Facilitation の技術や手法をもち、実践していく専門家として、ランドスケープアーキテクトは八王子のまちづくりに欠かせない要素だといえます。

私はランドスケープ先進国である欧米で学びながら、都市開発やまちづくりを実践してきました。八王子市と同等の規模をもつ鹿児島市でもまちづくりを行っており、八王子市でも現在進行中のプロジェクトを実践しています。

多種多様な人々が集まるのがまちづくりですが、”よいまちをつくる”というひとつの目的においては皆が平等で、意見を出し合える環境づくりが必要であり、その場所を作ることを実践しています。

その皆が集まる場所では、まちの”目利き”を発掘、育成していくことを私の業務とし、目標としています。

八王子を”よいまち”にするべく、まちづくり、ランドスケープの専門家として進行役を務め、まちの目利きを育てることに注力します。